

令和 7 年 8 月 8 日

令和 7 年度 学校関係者評価報告書

学校法人大原学園
大原簿記専門学校神戸校
学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員会を開催し、学校法人大原学園 大原簿記専門学校神戸校の令和 6 年度自己点検・評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施しております。

令和 6 年度自己点検・評価報告書を基準に、特に提言頂きたい重点項目を次頁以降に記載されている点に絞り込み、学校関係者 評価委員へ事前に伝達した上で開催しました。

1. 実施日

令和 7 年 8 月 7 日 (木)

2. 実施会場

大原簿記専門学校神戸校 061 教室

3. 出席者

(1) 学校関係者評価委員

釜田 亮佑 様(釜田税理士事務所 所長 税理士)

上野 雄一 様(青山商事株式会社 法人部 マネジャー)

原口 哲也 様(洋服の青山 三宮店 上級店長)

久保田 知志 様(医療法人沖縄徳洲会 神戸徳洲会病院 医事課 課長補佐)

石井 祐介 様(自衛隊兵庫地方協力本部神戸出張所 所長)

黒木 輝幸 様(株式会社サップス)

<欠席>

前原 啓二 様(前原会計事務所インターナショナル・アウトソーシング 有限会社 所長 公認会計士)

※欠席委員より委員長一任の承諾を事前に頂戴している

(2) 事務局

佐藤 顕 (大原簿記専門学校神戸校 学校長)

恩知 孝康 (大原簿記専門学校神戸校 課長)

長尾 章吾 (大原簿記専門学校神戸校 課長)

嘉来 正人 (大原簿記専門学校神戸校 課長補佐)

石川 敦士 (大原簿記専門学校神戸校 課長補佐)

4. 自己点検・評価報告書より報告と検討

(1) 令和 6 年度の自己点検・評価報告概要

自己点検・評価報告書を配布の上、概要報告を行った。

以下（２）の重要項目以外は特に問題点の指摘はなかった。

<自己点検評価報告書 公開 URL>

<https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/>

(2) 学校関係者評価委員からの 提言 重要項目

① 4-15 卒業生の社会的評価

項目	評価
4 15 1 卒業生の社会的評価を把握しているか	70%

(イ) 現状・達成指標

企業・官公庁担当者より情報を収集して状況を確認している

(ロ) 具体的方策

官庁及び学生個人からの聞き取りを実施している状況

(ハ) 学校関係者の提言

同窓会組織の設立、拡充などを検討し、横のつながりをつくってみてはどうか

(ニ) 総括

企業・官公庁 担当者 からの情報に 基づき、引き続き学生指導、学生教育に役立てていく。課題発見能力、課題解決能力が不足している点を一部の企業担当者から指摘頂いているため、今後の教育課程編成における課題として取り組んでいく。

②5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境の整備

項目	評価
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育 環境を整備しているか	70%

(イ) 現状・達成指標

附帯教育を充実させることで、社会人の様々なニーズにも対応している。給付金、長期委託訓練の指定などを受け、希望する学生が学ぶ環境を整備している。

(ロ) 具体的方策

学びのニーズは常に変化するため、今後も情報収集に努める。また、大学生や社会人などのニーズに応える制度の開発をさらに進めていく。

(ハ) 学校関係者の提言

営業職に特化したコースを設定しては、どうか。より、現場に出た際に求められる能力が身についていくのではないかと。医療コースは設けているコースが多く、専門性が失われているのでは、無いか。専門性を磨けるコースに絞ることを今後検討して欲しい

(ニ) 総括

担当窓口または卒業担任と上司や他の教員、関係部署間の連携により、可能な限りのフォローアップを行い、卒業生の満足も得られている。さらなる満足度の向上を図るために卒業生、大学生や社会人などのニーズに応える制度の開発をさらに進めていく。

5. 学校関係者委員会総括

大原簿記専門学校神戸校の今回の自己点検・評価報告書の内容については、概ね適正に運営されているとの評価をしている。教育理念に基づいた運営方針が明確に定められており、その理念を達成するための事業計画の策定、研修制度の確立を通じて有為な人材育成が行われている。

教育業界ではその時代にあった取り組みや教育が求められている。引き続き、高い就職率・資格合格率・公務員合格率を維持していただくとともに、生徒の専門知識を始めとして、人間力育成など様々な教育の機会を提供することで、社会に貢献できる人材を育成し、地域企業の活性化、社会の発展に貢献していただきたい。